

■平成28年度 第3回 大和市街づくり推進会議 会議録■

- [会議名称] 平成28年度 第3回 大和市街づくり推進会議  
[開催日時] 平成29年1月17日(火) 10時から12時  
[開催場所] 大和市文化創造拠点シリウス 603中会議室  
[出席委員] 8名(欠席:3名)  
[出席]: 饗庭 伸/黒石 いずみ/菅 孝能/吉田 洋子/江村 郁子/須賀 良二  
/南 真美/星野 澄佳/  
[欠席]: 松本 久美、仲村 邦弘、宇津木 朋子  
[事務局] 4名(街づくり推進課長、街づくり推進担当3名、)  
[担当課] 街づくり計画部 街づくり推進課 tel.046-260-5483  
[傍聴者] 1名  
[公開の状況] 公開

=====

I. 会議次第

- 
1. 開会
  2. 報告  
○平成28年度街づくり学校専修コースについて
  3. 議題  
○第2回やまと・ブランド・発見について
  4. その他

II. 内容

- 
1. 開会
  2. 報告  
○平成28年度 街づくり学校専修コースについて
  3. 議題  
○第2回 やまと・ブランド・発見について  
質疑応答 (○…委員 ▼…市)

■平成28年度街づくり学校専修コースについて

事務局より、街づくり学校専修コースの概要を説明した。

○質問等あればお願いします。

○年齢層的にはどのような感じでしたか。

▼やはり大半はご高齢の方だが、基礎コースにご参加して頂いた40~50代の現役の方もいる。

▼女性が3分の1くらい。講師の教え子の方にも来ていただいた。第1回目は清水建設のプレゼンがメ

インで、難しい話ではなく、アイデア出しの仕方等をわかりやすく伝えて頂いた。全く同じ事は出来ないと思うが、第2回目以降そのプレゼンを参考に作業を進めていこうと講師から説明いただいた。

## ■第2回やまと・ブランド・発見について

▼平成26年度に参加いただいた方もいるが、初めての方もおられるので簡単にご説明する。「やまと・ブランド・発見」とは何かというと、様々な建物や街並み景観を表彰する街づくり賞というものを毎年開催し、十数年間続いてきた。しかし、毎年の開催となると、候補として挙がる数も少なくなり、お願いをして出してもらったりもしていた。そこで、平成26年度からは毎年の開催ではなく、隔年で開催することにした。間の年は何もやらないのではなく「やまと・ブランド・発見」という啓発事業を、不特定多数の方に一日限りでご参加頂き、街づくりに対して何か活動するきっかけになるようなイベントを提供する目的で始めた。推進会議の皆様にも色々とお話しを伺いご協力して頂きながら、平成26年度の「やまと・ブランド・発見」は「巡る、語る、考える」を意識し、ぷらっと中央林間から林間学習センターをゴールにして行った。このときは会場の都合で、申込制にして、当日集まった方々でグループになった。街歩きと言っても、良いところ悪いところということではなく、皆さんで街の良いところを発見しましょうと言う意識で口火を切った。しかし、その場で集まった方々がどこを回るのかを決めるのは少し難しいかもしれないということで、案内としてスタッフが付き、ある程度説明をしながら行った。そして林間学習センターに戻ってから、グループ毎にどんな中央林間の姿が良いのかをまとめて発表していただいた。その様な流れで平成26年度のやまと・ブランド・発見は実施した。今回は、シリウスが完成したこともあり、場所を変えて大和駅周辺にアレンジした内容で行いたいと思っている。今年度の基礎コース、専修コースで大和駅をフィールドに行ったこともあるので、今年度行った講座の成果を皆さんに見ていただきながら今回のやまと・ブランド・発見を開催したい。

第2回やまと・ブランド・発見についての資料説明。開催概要を説明した。

○前回予想より多くの方が参加され、うれしい誤算だったわけだが、6班5人で作業し、30人でスタートした。6班それぞれの班の中に中央林間エリアの方々がいて、その人たちが先導してくれて街歩きのコースも多様になり、発表も良かった。今回学校に参加されたのが20数人で、その方々を巻き込んで来てもらい、参加した他の市民の方と考えをぶつけてもらえば、巡る・語るが面白くなると思う。前回はそのような展開になり面白かった。前回は、だらだら歩くのではなく、あちこち見て回れるよう、良い意味で中央林間地区の方々が先導してくれた。今回はどのように人を集めるつもりか。

▼従来の広報等の媒体はいつものとおり考えているが、今回も専修コースのように基礎コースに参加された方や、街づくりサポーターの方にもご案内をしている。

○事前に登録する必要はあるのか。

▼一応、事前の申し込み制としているが、当日の参加も可としている。今回の会場はある程度多くの人数に対応できるが、同行スタッフの人数が足りるかの懸念はある。ただ、ある程度の集まり具合で柔軟に対応するつもりである。そういう意味でも、活発に意見を発信してくださる方々はスタッフ寄りでご参

加いただけるとありがたいと思っている。

○街づくり学校専修コースの街歩きの時、参加者の方々はどのようなところに注目して街歩きを行っていたか。やまと・ブランド・発見の当日は、何か近くで、例えば骨董市のようなイベントはあるのか。自分で通りを歩いてみて、どこがこの地域の自慢だろうかと考えたが一箇所しか浮かばなかった。街歩きを実際にした方は、どのような所に着目したのか。良いところ、悪いところも含めて、それがどのようにブランドに繋がっていく見通しになるのかをお聞きしたい。

▼街歩きの際に現在プロムナードで行われている、骨董市や阿波踊りなどのようなプロムナードの活用事例を紹介したうえで、街歩きをしていただいたが、専修コースはやまと・ブランド・発見を前提にしているというよりは、課題も含めて街歩きをしていただいたので、課題と資源という視点を持って開催した。班ごとに街歩きを行ったので、各班で意見は若干違うと思うが、プロムナードに沿った商店街でも、南側の銀座通りは夜の飲食店、北側の昭和通りは昼の食事処といったように、プロムナードの北と南でもイメージに違いがあるのではといった視点で街歩きを行っていただいた。プロムナード自体を歩いてみても、基礎コースを春に実施したときにはプロムナードにまだ緑地やベンチがあった。それが良かったという方もいて、なぜなくなったのかというご意見もあったが、一旦はきれいにし、通りとしては今後様々な用途に活用できるというご意見もいただいた。この半年の動きの中で変わった部分もあり、今は駐車場や空き地になっている所が、今後どのようになるのかという視点で話し合っていた。

▼前回、饗庭先生に口火を切っていただき、色々とコーディネートをしていただいたので、今回も饗庭先生にもお願いしており、推進会議の皆様にも当日可能な方にはご協力いただきたいと思っている。

○ワークショップの目的をもう少し、明確な表現にしてもらおうとわかりやすい。もう少し詳しく知りたい。課題と魅力を発見して、それを市のこれからの計画に反映させる為に意見を集めることが目的か。

▼どちらかと言うとそうではなく、ブランド発見などのご意見や街づくり学校の成果はHPでも公開して見て頂けるが、やまと・ブランド・発見でのアイディアは、市側ではもちろん受け止めるが、それを計画などに活かす為に聞いていると言う事ではなくて、むしろ、気軽に来て頂ける機会の一つという事で考えている。例えばプロムナードの改修をしたいとか、街並みのルールを作るためになどのご意見を伺う事と比べると対極にあり、不特定多数の人が当日のみ集まって、参加者の意見を出し合い、地域に戻った時に、自分たちの地域活動に役立てて頂きたいといった位置づけで考えている。プロムナードも今後、色々と街並みが変わる要素として、街づくり学校などでも様々なご意見を伺っているが、なにか特定の事業に対する活動ということではない。

○何か考えた成果が市の何かに役に立つのであれば良いが、そうでないなら意味がないのではないか。公表する場を仲間内だけではなく、発表などすると良いと思う。その方が参加者の意識も高まる。情報収集の成果を形にするという考えは無いのか。

▼専修コースでも同じように市民の方から、この街づくり学校での成果はどこまで市は実行してくれるのかというご意見があったが、実現させるのであれば、予算などを把握してやらないとどうという提案をしていいかわからないとのご意見もあった。その際、講師からも、事業の実施を前提にしたものではなく、全て出来るかどうかかわからないが、まずは否定せず色々なご意見を自由に出して頂き、制限をあまり付けない発想をお願いをした。これからの街が変わっていく為のアイディアを自由に出して頂き、将来少しでも反映できるものがあれば良いのではという観点で

行っている。

○周辺の事情が事前に見えていないのはいかなものか。商業関係の人はこういった時間に出席できないが、事前に「こんな声があるよ」等、事前に市の方で情報を取り、お伝え出来ると良いのではないか。また、せっかくシリウスが出来たので、シリウスのPRと「やまと・ブランド・発見」を上手く繋げてはどうかと思う。シリウスの中でも広報し、今利用している人にも広く広報してもらい、シリウスの利用について意見を言ってもらおう。また指定管理者にも参加して頂く等のアイデアも考えてみてほしい。

○これがブランドという表現はあいまい。シリウスをもっと楽しむというアイデア出しなどであれば若いお母さんなどはやりがいを感じてくれるのではないか。

▼今回はこちらの場所での開催なので、必ずしも街歩きを前提としなくても、建物の中、施設の中のグループでブランドを見つけてもらうことも可能である。巡るでは、すべての場所を歩かないといけないわけではなく、必ずしも外に出ないといけないわけでもない。公共施設は、普通なら勉強しないでください、写真は撮らないでくださいなどのことを言いがちだが、この施設はさほどそのような感じもない。そこでシリウスのブランドを見つけてもらいたい。

○例えばシリウスに子ども連れで来たお母さんが、少しプロムナードに出てご飯を食べるなどといったことが良い。ここでお母さん同士が知り合ったりしたら、このプロムナードは楽しくなると思う。それはブランドになると思うし、生活感のあるブランドでいいと思う。

○このプロムナードの地権者は相鉄だと思うが、是非相鉄を呼んでほしいと思う。今相鉄は、鉄道だけではなく、エリアマネジメントにも積極的に力を入れているし、この地域は相鉄にとってもビジネスチャンスが見つけられると思う。そういった生活者の声を生で聞いてもらいたい機会だと思う。

▼駐車場の広い土地も相鉄のもので、従前からあり、シリウスと一緒に完成する予定だったが、少し進捗が遅れている。相鉄もテナントを色々考えている。

相鉄とは色々な繋がりがあり、今後のご案内をしていこうと思う。指定管理者も施設ができる前から阿波踊りなどに参加し地域と一緒にやりたいという気持ちでやってきた。色々な制約はあるが、施設内を巡るとなれば施設内で広報もしようと思うし、これから告知も考えていく。ただ、市役所の行事をシリウスで大々的に告知できるかと言えばわからない部分もある。

○子連れや主婦には、この建物の中を詳しく見たいということはあまりないと思う、広場や一階をゆっくり見て、駅の周りをどうやったら楽しめるのかといったことの方が知りたいだろう。休憩できる場所や子供のおむつを替える場所など、そういったことを知りたいと思う。この施設内を案内する必要はあまりないのではないか。

シリウスの案内ビデオ（12分ほど）を視聴いただいた。

○実現化するものが無いとなかなか参加は難しい。子育て世代の方も忙しいので、今回、例えば相鉄を呼ぶというような、何かしら実現化する当てが有るという事が分かる様に参加者にも伝えられたら良いと思う。せっかくシリウスが出来て大和駅周辺が賑わう機会なのだから、もっと考えたことが実現化できるような会にして頂きたい。シリウスを作った資金を回収する等の、具体的プランというのは市としてはあるのか。

▼建設コストと運営経費ですが、経費は指定管理者の負担である。公共施設なので図書館等はお金が取れないという事で、そういう意味での収支と言う形ではなかなか説明するのは難しい。ホール、会議室の収入はあるが最低限で、なかなか収支という事だけでは判断できず、出来るだけ多くの人に利用して頂けることに価値を置き換えて考えている。

○最近新聞などで「図書館と融合して街の活性を図る自治体が増えている」といった記事が多いが、図書館の来館者数だけでなく、プロムナードの活性化として、チャンスを活かさなければならない。これだけのものを作ったのだから、ホールに来た方にお金を落としてもらわないといけない。せっかくのチャンスにも関わらず、会館して数年で赤字になってはまずいと思うので、やまと・ブランド・発見に参加してくださる意欲のある方の意見を少しでも実現化してもらおう方向にしないといけないと思う。

○今回の街づくり学校では、街づくりルートは指定されていたと思うが、やまと・ブランド・発見では何パターンか作っているのか。自由なコースでも歩けるのか。

▼中央林間の時はスタートからゴールまでがあったのでどうしても移動しなければならなかったが、今回はできる範囲でという感じがあるので、少し意図的にガイドをして、専修コースの参加者などに案内をしてもらった方がいいのかと考えたりもしている。また、グループの中ですぐにルートを決めて自由に歩くということは難しいかもしれないので、ある程度はご案内するメニューも示そうかと考えているが、まだそこまでは決めきれていない

○今回のテーマはプロムナード周辺という事ですが、街を自慢したいという方もいますし、ここだけでは見つけられないブランドもたくさんある。実際にシリウスに来られる人が、もう少し足を運べる範囲を考慮し、街自体の使い方の提案の為、ルートももう少し考えてもらえると面白い。

▼時間に関しても考慮の余地がある。専修コースの街歩きでも、シリウスが混雑していて6階から上り下りにも時間がかかり、正味1時間程度で、見切れない部分もあった。「語る」の時間も1時間以上取っているが、時間制限で見られない箇所があるのはよくないので、もう少し街を見る時間を長く取れるように考えたい。ルートに関しても、もっと広範な方がブランドを見つけやすいと思う。地元商店会や商工会議所にもご案内はしていきたいと思っている。

## ■閉会

以上